



瓊浦高等学校
学校通信
第 45 号

平成28年5月31日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245



「瓊浦高校への思い」

教頭 小林 勝

今年4月「瓊浦ファミリー」の一員に加えていただき、2ヶ月が経過いたしました。授業も1年生1クラス数学を担当しています。出張が多く、3時間連続授業をすでに2回実施するなど生徒諸君には迷惑をかけていますが、教壇から落ちかけたり机に躓いたりしながらも楽しい時を過ごしています。たまには厳しい指導を交えながら、生徒諸君が「数学って結構楽しい」って感じてくれる時を心待ちにしているところです。

私はこれまでの教員生活の中で、瓊浦高校との縁を少なからず感じてきました。始まりは38年前にさかのぼります。私が家内と出会ったころ、家内の父は瓊浦高校に造船科教員として勤めていました。わずか5年程の勤務でしたが、栗山理事長は亡き義父の事をよく覚えておられました。感動いたしました。「瓊浦ファミリー」という言葉を実感した瞬間でした。6,7年もすれば教職員の大半が入れ替わる公立高校では考えられないことです。卒業して10年、20年後に母校を訪れても、お世話になった先生方がいるというのは、実に素晴らしいことです。私学ならではです。まさに母港というべき母校です。

宮崎校長先生と初めてお会いしたのは35年前のことです。以来、私にとって常に兄貴的存在として、微に入り細に入りご指導いただき、今に至っています。そして歴代の理事長・校長先生の中に、公立時代お世話になった校長先生が3名もおられます。これはもう運命を感じずにはられません。

瓊浦高校職員室の一員となったとき、先生方の和気藹々とした雰囲気の中に、忘れかけていた懐かしさと温かみを感じました。私にとって若かりし教員時代の思い出であり、「昭和」の匂いとでもいうべきものです。こんなに大きな学校なのに、生徒諸君一人一人の事を先生方がよく知っています。まさにファミリー、家族の雰囲気そのものです。

言うまでもなく瓊浦高校の一番の魅力は、活発な部活動にあります。体育部・文化部ともにその充実ぶりは、現在県下ナンバーワンであろうと思います。今週末から県高校総体が開催されますが、私にとってこんなにも多くの楽しみを持って迎える高総体は初めての経験です。可能な限り、多くの選手諸君の活躍を自分の目と心に刻み込もうと、綿密な応援計画を立ててみましたが、やはり体が一つや二つでは足りません。何ともぜいたくな悩みです。

瓊浦高校の広報ポスターの中に、「原石諸君」というキャッチコピーがあります。本校を目指す中学生諸君への力強い呼びかけの言葉ですが、私は瓊浦高校自身への呼びかけでもあるように感じています。瓊浦高校は、今後さらに輝きを増していく高校です。まさに瓊浦高校こそが原石です。生徒諸君が自らを磨き、教職員が保護者の皆様と一緒に生徒諸君を磨き、皆が一つとなって瓊浦高校のさらなる輝きを高めていきましょう。これまでの経験を生かし、縁ある瓊浦高校の役に立ちたいとの強い思いで、2ヶ月が過ぎました。今年の第一の目標は、今の気持ちを持ち続けていくことです。

PTA総会

今年度のPTA総会が、5月14日(土)本校総合体育館において開催されました。はじめに3年生は進路説明会、1・2年生は村元淑子先生による講演会がおこなわれました。講演のタイトルは「これで大丈夫？ 高校生の食事」で、脳のはたらきをよくする朝ごはんのそろえ方などについてお話いただきました。総会では、会計決算報告や新役員選出のほか、28年度の会務計画などの審議がなされ、予算案については保護者からの質問も出ました。その後、各学年および学級ごとに分かれて懇談会がおこなわれました。保護者の皆様には、お子様方の学校での過ごし方や教室の様子などを直接見聞するよい機会になったのではないのでしょうか。



お忙しいなか多数の皆様にご出席いただき、ありがとうございました。

【部活動成績】

将棋同好会	少年男子個人形	金子 圭一郎 (普3C)	第2位
・平成28年度長崎県高等学校将棋選手権大会	少年女子個人組手	久富 捺由 (龍普3B)	第3位
団体女子の部	水泳部		
第2位	・平成28年度第9回長崎県高等学校春季水泳競技会		
個人女子の部	男子総合		第3位
錦織 晴朝 (龍普2B)	優勝		
空手道部	200m平泳ぎ	横山 遼 (機2D)	第2位
・第53回長崎県空手道選手権大会	100m平泳ぎ	横山 遼	第2位
少年男子個人組手	山口 吉生 (機2C)		第3位
山口 将吾 (龍普3A)	優勝		
宮崎 悠矢 (機3C)	第2位	50m平泳ぎ	山口 吉生
		50m自由形	上川内 佑一 (機3B)
		200m平泳ぎ	林 唯衣 (情2A)
			第3位

県高総体日程

地区	クラブ名	6月4日(土) 試合会場・時間	6月5日(日) 試合会場・時間	6月6日(月) 試合会場・時間
長崎地区	長崎市	ソフトテニス 6/4~6/6 かきどまり庭球場	かきどまり庭球場	かきどまり庭球場
	長与町	バレーボール 6/4~6/7 瓊浦高等学校体育館 14:00~	長与町民体育館 12:00~	県立総合体育館 11:00~
	時津町	バドミントン(男子) 6/4~6/6 三菱重工体育館(男子)	長崎市民会館	長崎市民会館
		バドミントン(女子) 6/4~6/6 長崎南高校	三菱重工体育館	三菱重工体育館
		水泳 6/4~6/5 長崎市民総合プール	長崎市総合プール	
中地区	諫早市	陸上競技 6/4~6/7 県立総合運動公園陸上競技場	県立総合運動公園陸上競技場	県立総合運動公園陸上競技場
		柔道 6/4~6/5 諫早市小野体育館	諫早市小野体育館	
		ハンドボール(男子) 6/4~6/6 諫早市中央体育館 10:45~	諫早市中央体育館 12:00~	諫早市中央体育館 (決)11:30~
		ハンドボール(女子) 6/4~6/6 ※試合なし	諫早市中央体育館 9:30~	諫早市中央体育館 (決)10:00~
		空手道 6/4~6/5 諫早市飯盛体育館	諫早市飯盛体育館	
	大村市・島原市	卓球 6/4~6/7 大村市体育文化センター	大村市体育文化センター	大村市体育文化センター
		サッカー 6/4~6/10 ※試合なし	大村市古賀島スポーツ広場 11:40~	島原市菅平成町人工芝グラウンド 13:20~
		ボクシング 6/4~6/6 小浜高等学校体育館	小浜高等学校体育館	小浜高等学校体育館
佐世保地区	佐世保市	バスケットボール男子 6/4~6/7 佐世保工業高等学校体育館 17:00~	佐世保市体育文化館 11:40~ 15:00~	佐世保市体育文化館 (決り)11:40~
		バスケットボール女子 6/4~6/7 佐世保商業高等学校体育館 9:30~ 12:30~	佐世保市体育文化館 10:00~ 13:20~	佐世保市体育文化館 (決り)10:00~
		剣道 6/4~6/6 佐世保市東部スポーツ広場体育館	佐世保市東部スポーツ広場体育館	佐世保市東部スポーツ広場体育館

大会期間中は、瓊浦高校ホームページ内のブログで試合結果などの情報を随時お知らせします。保護者の皆様も、生徒たちの活躍に声援をお送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
<http://keiho.blog58.fc2.com/>

【NHK杯のお知らせ】
第64回NHK杯高等学校野球大会は、現在地区予選が行われており、長崎県大会は、6月4、5、8、11、12日の日程で開催されます。こちらをあわせて応援のほどよろしくお願い申し上げます。

★高総体展望★

第68回長崎県高等学校総合体育大会が6月4日より開催されます。本校の選手は、男子が13競技種目185名、女子が10競技種目78名、計263名が出場する予定であり、その全ての競技種目において上位進出が有望視されています。

男子の団体種目では、平成27年度全国高校総合体育大会で3位入賞を果たした卓球部が、昨年度達成できなかった団体・ダブルス・シングルの三冠に挑みます。また、ハンドボール部はライバル長崎日大に県下新人戦、春季大会等で圧勝しており、昨年の雪辱を期します。昨年14年ぶりの優勝を果たしたバドミントン部は、これまで県内の大会では無敗を誇っており、連覇が期待されています。これらの部は、全国総合体育大会での優勝および上位入賞を目指しています。

女子は、バスケットボール部、卓球部、ハンドボール部、柔道部、剣道部、空手道部、バドミントン部の7競技種目で団体競技種目に出場します。特に、ハンドボール部は、県下新人戦、春季大会で優勝しており、高総体での初優勝を目指しています。また、卓球部も十分に優勝を狙えるところまで力をつけてきました。

個人競技種目では、陸上競技部(男女)、卓球部(男女)、剣道部(男女)、柔道部(男女)、バドミントン部(男女)、水泳部(男女)、空手道部(男女)、ソフトテニス(男女)が出場します。個人競技種目においても有力選手が多数おり、優勝、上位入賞が期待されています。

《主な行事》 6月

- 2日(木) 高総体推戴式
- 4日(土) 高総体応援(～6日)
- 8日(水) 振替休日(高総体)
- 11日(土) 対外模試3年(～12日)
- 12日(日) 危険物取扱者試験
長崎県就職模試
- 13日(月) 第2回実力考查3年
受納式
- 15日(水) 歯科検診
- 19日(日) 全商珠算・電卓実務検定
- 20日(月) 創立記念集会
- 25日(土) 創立記念日
- 26日(日) 全商簿記実務検定
- 27日(月) 期末考査(～30日)

【薬物講話】

5月18日(水)薬物

乱用防止講話が実施され、講師として長崎県警生活安全部少年課サポートセンターの岸下志穂先生にお話をいただきました。今回は薬物のなかでも特に近年未成年に広がっているという危険ドラッグについて学びました。危険ドラッグはハーブやアロマといった一見合法な商品を装って売られています。インターネットでも売買が可能であり、遠い世界の話ではありません。生徒たちは、薬物には決して近づかない、絶対に関わらないという強い意志を持つこと、そして薬物の正しい知識と普段からの心構えの大切さを学びました。

「児童生徒の継続的な指導・支援のための引継ぎシート」の活用について

当学校法人では、長崎県教育委員会が定める「児童生徒の継続的な指導・支援のための引継ぎガイドライン」に基づき、中学校から「児童生徒の継続的な指導・支援のための引継ぎシート」の送付があった場合、シートを最大限に活用し、当該生徒の継続的な指導・支援に努めます。